

静岡県車連ニュース 2007年9月号 No.50

発行 / 静岡県自転車競技連盟

発行人 / 大橋正己

編集人 / 山本和中 松村友子

編集事務局 / 静岡県自転車競技連盟事務局

〒421-3301 庵原郡富士川町北松野620-2 松村正之方

TEL : 0545-85-3128 FAX : 0545-69-1828

E-mail : scf@tx.thn.ne.jp

<http://www.shizuoka-cf.com>

「秋田わか杉国体」開催

ロード競技 : 美郷町・大仙市特設ロード・レース・コース / トラック競技 : 美郷町六郷自転車競技場

競技日程、組合せについては秋田わかすぎ国体のホームページをご覧ください。

秋田わか杉国体は、「君のハートよ位置につけ」を合言葉に9月30日(日)～10月4日(木)まで、秋田県で開催されます。マスコットは『わか杉』=『木』=『気』とし、『げんき』+『ほんき』+『こんき』という『秋田杉』で第62回国体の舞台上で活躍する選手、関係者の『げんき』を象徴するもので、『わか杉』は“てっぺん”をめざす意味の「矢印」の形でもあるそうです。

参加する静岡県選手団の声を紹介します。皆様の御声援をお願いします。

【総監督 岩崎孝雄】

今年で4年連続、総監督をさせていただきます、岩崎孝雄です。8月28日～30日まで静岡競輪場で強化合宿を行いました。高校2年生から35歳の選手13名、気持ちの入った素晴らしい練習を行うことができました。

今年は、団体追抜競走、チーム・スプリントともに8位入賞がおおいに期待できそうです。個人種目でも期待できる種目がたくさんあります。皆様方のあたたかい応援を追い風にして好成績をあげて来たいと思います。

応援よろしく願いいたします。

【成年監督 井上正継(静岡北高・教)】

今年度の成年選手は21歳～35歳の5名で構成されています。キャプテンは最年少の落合君をあえて指名し、チームの活力アップを図り、個人種目では最低2種目の8位入賞を目標としています。また、昨年度から混成チームとなった団体種目でも入賞を目指し頑張りたいと思います。応援よろしく願いいたします。

【少年監督 山本明弘(興誠高・教)】

今年の国体のメンバーは、半分は兵庫国体の出場者で、少年はインターハイ・選抜大会、成年はインカレ・実業団等の全国大会での活躍・入賞経験を持つ者が多くいます。それぞれの力をうまく出せば数多くの入賞ができるものと思っています。国体でのスタッフとして3年目、今までの経験を生かして、全力でサポートしていきたいと考えていますので、応援よろしく願いいたします。

【メカニシャン 櫻井秀夫(修善寺工高・教)】

今年が初めての国体参加なので、すべてが勉強と思い、勝利に貢献できるよう頑張りたいと思います。

【成年選手 内田晃弘（順天堂大） 1kmタイム・トライアル チーム・スプリント】

1kmタイム・トライアルとチーム・スプリントで入賞できるよう頑張りたいと思いますので応援よろしくお願ひします。

【成年選手 落合達彦（マットペローチェARIAKE） スプリント チーム・スプリント】

今回、スプリントとチーム・スプリントに出場します。今年は2回目の出場です。個人・団体と両方で入賞できるように頑張りますので応援よろしくお願ひします。

【成年選手 北川光治（（株）小澤土木） 4km速度競走 4km団体追抜競走 個人ロード・レース】

今回の静岡県選手の中で最年長ということで、国体でも大学生たちのなどの若い選手たちとの競走になると思ひます。体力的にも厳しいと思われますが、気持ちで負けないで入賞できるように頑張ってきますので、応援よろしくお願ひいたします。

【成年選手 栗田雄矢（マットペローチェARIAKE） ケイリン 4km団体追抜競走】

団体追抜競走では4分40秒を出せるように、ケイリンでは優勝を目指して頑張りたいと思ひます。

【成年選手 渥美守弘（吉田機工株式会社） ポイント・レース 個人ロード・レース】

23年前の高校3年の春に左足薬指を疲労骨折し秋田インターハイ（陸上800m）に出れず、鼻水悔し涙を流した私が、23年後に秋田国体に出場できるとは思ひませんでした。秋田の借りは秋田で返す。出場するからには自分の限界越えをし、あきらめないレースをしてきます。

【少年選手 石田 輝（興誠高） エリミネーション・レース 4km団体追抜競走 個人ロード・レース】

昨年に続いて、2度目の出場です。インターハイ・選抜大会での経験を生かして、今度こそ1位が取れるように頑張りますので応援よろしくお願ひします。

【少年選手 池田巧介（修工高） ポイント・レース 4km団体追抜競走】

精一杯頑張って、悔いのないようにしたいです。

【少年選手 田中雅士（修工高） スプリント チーム・スプリント】

今年の国体では、スプリントとチーム・スプリントに出場します。個人種目では去年を上回る成績を残したいです。チーム・スプリントでは、先輩方の迷惑にならないよう努力しつつ上位入賞を目指したいです。精一杯頑張るので応援よろしくお願ひします。

【少年選手 望月諒真（静岡北高） 4km速度競走 4km団体追抜競走 個人ロード・レース】

自分は今回初めての国体で、今までの練習の成果を十分に発揮して調子を上げていき、ベストな走りができるように頑張りたいです。

【少年選手 山川由馬（修工高） 1kmタイム・トライアル チーム・スプリント】

恥ずかしくない競走をしたいと思ひます。

※なお、ポイント・レース 4km団体追抜競走 個人ロード・レース出場予定だった成年選手の大塚潤選手は、練習中の落車で負傷し欠場となりました。したがって、予備登録選手の渥美守弘選手が出場となります。

県内選手の結果

第63回全日本大学対抗自転車競技選手権大会

8月30日(木)～9月2日(日) 日本サイクルスポーツセンター北400mピスト

チーム・スプリント 優勝 順天堂大学(石川 内田晃弘 土屋) 1分18秒377

第38回全日本実業団自転車競技選手権大会

9月8日(土) 9日(日) 大阪・関西サイクルスポーツセンター

スプリント 5位 落合 達彦(マットベローチェARIAKE)
エリミネーション 4位 北川 光治(ミソノイレーシングチーム)

第39回中部8県対抗自転車競技選手権大会

9月15日(土) 日本サイクルスポーツセンター北400mピスト

トラック総合 2位(得点93点)

1kmT・T	5位	内田 晃弘(1分11秒460)	6位	山川 由馬(1分14秒335)
スプリント	優勝	落合 達彦	3位	田中 雅士
4km速度競走	2位	北川 光治	優勝	望月 諒真
ケイリン	2位	栗田 雄矢		
スクラッチ	4位	石田 輝		
ポイントレース	4位	渥美 守弘(11点)	5位	森田 将仁(11点)
4kmチームパシュート	2位	栗田雄矢 北川光治 石田輝 望月諒真		4分42秒398
チームスプリント	5位	内田晃弘 落合達彦 田中雅士		1分22秒044

第40回中部8県対抗自転車競技大会道路競走大会

9月16日(日) 日本サイクルスポーツセンター5kmサーキット

ロード総合 優勝(得点15点)

優勝 望月 諒真(1時間34分02秒)
2位 石田 輝
5位 渥美 守弘

県対抗 2位(得点108点)

日本サイクルスポーツセンターで行われた「平成19年度中部8県対抗自転車競技大会」では、トラック総合2位、ロード総合優勝、県対抗総合では優勝の岐阜県に2点差まで迫り、大健闘でした。この勢いで「秋田わか杉国体」頑張ってください。選手・監督の皆さん、お疲れ様でした。

また、ご協力いただきました日本サイクルスポーツセンター、日本競輪学校、競技役員の皆様、本当にありがとうございました。落車等事故もなく終了できましたのも皆様のおかげと感謝しております。

日本スポーツマスターズ2007 びわこ大会

9月15日(土) 16日(日) 滋賀・高島市今津総合運動公園周辺 特設ロード・レースコース6.0km

個人ロードレース男子4部(50歳以上、55歳未満) 3位 高橋 秀樹
男子6部(60歳以上) 8位 櫻井 雅夫

日本スポーツマスターズ2007 びわこ大会 参戦記

男子4部 3位 (6km×6周 36km) 高橋 秀樹

16日(日)天候は昨日と同様、朝から曇り空、時々雨、レース中だけ炎天下で、めまぐるしい天気。コースはまっ平らな田んぼの中で正方形に近い。対角線で割って片側は2車線、もう片側は1車線の農道。前日、松井久さん(シマノ:ナカガワAS.Kデザイン)が何度も逃げようとしたが捕まり、結局ゴールスプリントで優勝しましたが、自分は絶対逃げて勝ちたかったのでスタートから逃げました。がしかし、3部と4部同時スタートで50mほど距離をあけてパレード走行1.5km。半周もしないで、3部4部ごちゃごちゃになり、4部の私の逃げを3部の選手が追いかけて捕まるの繰り返しでした。何度か逃げを試みましたがその度に全員に追いかけてられ適当な大きさの集団を作ることができませんでした。毎周回、半周逃げて半周で捕まる、結局自分の足が無かったのかなぁ……?松井さんが逃げられなかったのが私が逃げてやろうとがんばったのですが……。何度も逃げまくって疲れただけ、なんだか自己満足の世界?のレースでした。最後は……1時間弱へろへろの状態です。3部4部合わせて20名ほどのゴール勝負。ゴール500m手前まで一番後ろでしたが、皆さんお疲れの状態でスプリントはまったくだめな私でしたが15人ほど抜きました。優勝を逃して残念。逃げて勝ちたかった。

静岡県体育協会からのお知らせ

第2回 Shizuoka スーパーキッズ大会

- ねらい (1) 本県競技力向上のため、長期的な取り組みの一環としてオールラウンドな素質あるタレントを発掘する。
(2) 学校で実施する新体カテストへの取り組みを喚起し、体力向上の一助とする。
- 主催 静岡県体育協会
- 日時 平成19年11月10日(土:小雨決行)
- 会場 草薙総合運動場
- 実施種目 (1) 長座50m走 (2) 立幅とび (3) 二重とび(なわとび)
(4) 背面ボール投げ (5) 反復横とび (6) 垂直跳び
(7) 1000m走
- 参加資格 (1) 静岡県内の小学校に通学する5・6年生の男女児童
(2) 平成19年度の新体カテストで、総合75点以上、または反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立幅とび・ソフトボール投げの5種目合計で満点(50点)のどちらかを取得していること。
- 参加申込 要項・参加申込については静岡県体育協会のホームページからダウンロードするかFAX(参加者氏名・電話番号・FAX番号もしくは住所を明記)で請求する。